

## バイオマス・ガス化・売電ビジネス(2.0MWe)の採算計算例

(FPT製ガス化炉(2基)+ガス・エンジン発電機(4基))

No.	項目	間伐材	間伐材	間伐材
1	原料構成(間伐材%、残り%:一般材)	100%	50%	0%
2	全投資金額(合計,円@除く消費税)	1,399,700,000	1,394,800,000	1,394,800,000
3	発電設備能力 (KWe@グロス)	2,000	2,000	2,000
4	: 発電-ガス化 (KWe@グロス)	2,000	2,000	2,000
5	: 発電-ORC1 (KWe@グロス)			
6	: 発電-ORC2 (KWe@グロス)			
7	ガス化・ガス精製装置一式(2系列)	859,600,000	859,600,000	859,600,000
8	ガスエンジン・発電装置一式(4系列)	122,800,000	122,800,000	122,800,000
9	ORC発電装置一式(オプション追加可能)			
10	乾燥設備一式(4系列)	86,000,000	86,000,000	86,000,000
11	監視・制御装置一式	24,600,000	24,600,000	24,600,000
12	変電、系統接続費	33,000,000	33,000,000	33,000,000
13	土建、建屋、他(設備本体@15%)	168,900,000	164,000,000	164,000,000
14	輸入・通関・保険・輸送費	39,900,000	39,900,000	39,900,000
15	教育費(操作・保守)一式	29,900,000	29,900,000	29,900,000
16	設計費、プロジェクト管理費、他	35,000,000	35,000,000	35,000,000
17	年間稼働時間(h/Year)	8,040	8,040	8,040
18	平均原料費(円/トン)@未乾燥チップ受入時	10,000	8,000	6,000
19	: 含水率(%)	40.0%	40.0%	40.0%
20	: 熱量(MJ/Kg-LHV)	10.17	10.17	10.17
21	原料消費量(Kg/h)@乾燥投入前	2,359	2,359	2,359
22	: (トン/年)	18,967	18,967	18,967
23	: 熱量(KWm/h)	6,662	6,662	6,662
24	原料消費量(Kg/h)@乾燥処理後	1,490	1,490	1,490
25	ガス化: 投入原料熱量(KWm/h)	7,306	7,306	7,306
26	ガス化装置必要量(Kg/h)@ガス化炉投入	1,490	1,490	1,490
27	: 必要量(トン/年)	11,979	11,979	11,979
28	: 含水率(%)	5.0%	5.0%	5.0%
29	: 熱量(MJ/kg)	17.65	17.65	17.65
30	冷ガス化効率(%) (@ガス化炉)	75.00%	75.00%	75.00%
31	合成ガス熱量(kWth/h)	5,479	5,479	5,479
32	冷ガス化効率(%)@乾燥機入口~ガス化出口)	82.25%	82.25%	82.25%
33	売電価格(FIT, 円/KWh)	40.00	32.00	24.00
34	ガスエンジン発電効率(%)	36.50%	36.50%	36.50%
35	総発電量(kW/h@グロス)	2,000	2,000	2,000
36	総発電量(MWh/年@グロス)	16,080	16,080	16,080
37	総合発電効率(%)@グロス発電 w/ ORC/受入原料)			
38	: (%@グロス発電 w/o ORC/受入原料)	30.02%	30.02%	30.02%
39	: (%@ネット売電 w/o ORC/受入原料)	28.52%	28.52%	28.52%
40	ガス化発電効率(%)@グロス発電 w/ ORC/ガス化原料)			
41	: (%@グロス発電 w/o ORC/ガス化原料)	27.38%	27.38%	27.38%
42	: (%@ネット発電 w/o ORC/ガス化原料)	26.01%	26.01%	26.01%
43	自家消費電力(総発電量@%)	5.00%	5.00%	5.00%
44	自家消費電力(KWh/h: 乾燥、発電量)	100	100	100
45	: (MWh/年: 乾燥、発電量)	804	804	804
46	売電発電量(KWe/h@Net)	1,900	1,900	1,900
47	: (MWh/年@Net)	15,276	15,276	15,276
48	発電/原料(KWe/Kg)(@dryer-Inlet w/ ORC)			
49	: (KWe/Kg)(@Gasfier Inlet w/ ORC)			
50	発電/原料(KWe/Kg)(@dryer-Inlet w/o ORC)	0.848	0.848	0.848
51	: (KWe/Kg)(@Gasfier Inlet w/o ORC)	1.342	1.342	1.342
52	原料費/売上(電力)(%)	31.04%	31.04%	31.04%

53	原料費/電力@ネット(円/KWh)	12.42	9.93	7.45
54	設備単価(万円/KWe@グロス)	69.99	69.74	69.74
55	投資採算性(円、年間当たり、以下、消費税除く)	金額(円/年)	金額(円/年)	金額(円/年)
56	電力売上額	611,040,000	488,832,000	366,624,000
57	原料費	-189,668,552	-151,734,842	-113,801,131
58	償却費(20年均一)	-69,985,000	-69,740,000	-69,740,000
59	人件費(2人x4シフト,日勤2人,@450万円/年)	-45,000,000	-45,000,000	-45,000,000
60	炭処分費(原料の3%@5千円)(有価で売却も)	-1,796,860	-1,796,860	-1,796,860
61	保守費(3.5%@設備費)	-48,989,500	-48,818,000	-48,818,000
62	保険料(売上@0.5%)	-3,055,200	-2,444,160	-1,833,120
63	運転経費・管理費(売上@1.5%)	-9,165,600	-7,332,480	-5,499,360
64	税引前利益(円/年)	243,379,288	161,965,658	80,135,529
65	フリーキャッシュフロー(円/年)	313,364,288	231,705,658	149,875,529
66	投資回収(年)	4.47	6.02	9.31
67	投資利回り(%@税引前利益/総投資額)	17.39	11.61	5.75
68	正味現在価値(NPV:円@資本コスト1.5%)	3,830,820,902	2,366,466,154	1,036,391,323
69	DCF法・内部利益率(IRR:%)	21.12%	15.95%	9.05%

**Note:**

- 1) **ガス化装置**(OEM製:2.74MWthx2基)、及び**ガスエンジン発電機**(OEM製500KWex4基)等の設備費は、共に現状の概算価格です(消費税別と諸経費も同様)  
**ガス化装置2基+ガスエンジン発電機4基運転**、通常時は発電(高圧接続の上限2MWe未満)です  
ガス化装置、ガスエンジン発電機の何れかが故障停止、或いは停止保守修理中でも1.0、1.5MWe発電継続ができます(ガス化装置2系列、エンジン発電機4系列並列運転)  
**設備価格は為替(TTM)価格(US\$=153円)**に基づく現在の概算見積合計価格(標準仕様・立地状況次第)です。受注時の為替価格の他、材費高騰等現地価格、ORC有無(No.9)、工事範囲とチップ原料単価(No.18)及び今後の詳細仕様等により**総投資額**(No.2)等は変動します
- 2) **全投資額**(No.2)は、本体装置に直接拘わる主な費用総額であり、例えば、土地全体の整備費、チップ粉砕機、原料チップ受入・計量設備、保管倉庫、系統接続負担金等の附帯費用は除外です
- 3) 原料の種類、品質(熱量,Max/Min篩ロス)等により、原料必要量(No.21&22)、ガス化収率、発電量の他、原料確保の難易度/価格等により、上記の採算性等は変わります(何れも保証値外です)
- 4) **原料(チップ材)消費量**(Kg/h@No.21、t/年@No.22)は、その**保有熱量**(MJ/Kg=LHV)により変わります  
より正しくは**原料熱量分析**が必要です、その値により**原料消費量**(No.22:t/年)も変わります  
尚、ここでは**原料熱量**(A:MJ/Kg、No.20,29)は下記の推算式より推定してます  

$$A(\text{MJ/Kg})=18.7222-0.2139 * (\text{含水率}\%)$$
- 5) **輸入・輸送費**(No.14)は、顧客設置場所迄の大型車(40' Plantform/HQコンテナ)による輸入及び国内輸送費概算値です、その他、海上輸送費、保険料、輸入手数料等を含みます
- 6) 上記費用は、標準のA-Tec仕様の価格です。但し、**土建・建屋費**(No.13,配管・配線工事を含む)、**変電・系統接続費**(No.12)は、概算(参考標準工事)金額であり、施行実施業者の再見積が必要です
- 7) **機器設計費、プロジェクト管理費**、他(No.16)は、本プロジェクト関連の設計、管理(EPC)費等の費用です。全体の採算性評価上の理由から、費用計上してます
- 8) **総合発電効率**は、各発電機端子の**総発電量**(No.35)を**原料チップ熱量**(No.23)で夫々割った**グロス効率値(%)**で(ORC付(w/ ORC:No.37)、ORCなし(w/o ORC:No.38)です  
更に**ネット発電効率**(No.39)は**ネット発電量**(No.46)を原料チップの乾燥機投入前熱量(No.23)で割った効率値です  
同様に**ガス化炉発電効率**は、各発電機端子の**総発電量**(No.35)を、原料乾燥後のガス化装置投入前の原料チップ熱量(No.25)で夫々割った**効率値(%)**(ORC付(w/ ORC:No.40)、ORCなし(w/o ORC:No.41)です(乾燥機付帯なしのガス化発電装置単体の発電効率値)。  
更に**ネットガス化発電効率**(No.42)は**ネット発電量**(No.46)をガス化炉投入前原料熱量(No.23)で割った効率値です
- 9) **IRR値**(No.69)は、FIT適用20年間のFree-Cash-Frow(No.65)に基づく計算結果です

尚、この間の課税は考慮していません

10)採算計算(投資額、原料必要量、発電量)等の数値は、単なる計算例です。

11)設備価格、採算計算の金額は全て消費税を含まない数値です

12)原料消費量(No.No.22)、及び発電効率(No.37～No.42)等のA-Tecガス化装置の性能仕様は理想的な最高の性能値であり、発電装置の性能保証値ではありません

(合)バイオ燃料